

学校経営推進費 評価報告書（1年目）

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

| | |
|--------|--|
| 実施課程名 | 小学部、中学部、高等部 |
| 取り組む課題 | 生徒の自立支援 |
| 評価指標 | <ul style="list-style-type: none"> ・講堂を活用した交流行事、イベント等に対する児童生徒、保護者、参加者の満足度 ・講堂（交流、研修等）の活用実績回数 |
| 計画名 | 「なんば・なにわホール（仮称）」 すまいるプロジェクト事業 |

2. 事業目標及び本年度の取組み

| | |
|-------------------|--|
| 学校経営計画の 中期的目標 | <p>3. 児童生徒が、仲間とつながり、地域の人々とともに生きていく喜びを実感する</p> <p>(1) 本校の講堂（約1000席）等を活用し、地域（小中学校、高等学校等を含む）との交流の機会拡大を図る。</p> <p>ア 交流校の開拓及び内容を深める。交流校数を昨年度より増やす。（昨年度5校）。 具体的な内容として、文化的行事を交流及び共同学習の核に位置づける。 参加児童生徒及び教員の肯定的評価を80%以上にする。</p> <p>ウ 地域の指導者を招き、地域の伝統的な皮革産業及び伝統的な太鼓演奏を学び、体感する機会を創出する。</p> |
| 事業目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・本校講堂（市民ホールに匹敵する施設）を地域に愛される学校づくりのシンボリックな施設と位置付ける。 ・子どもたちが、全国的にも知られている地域の産業である皮革、太鼓を体感できる場、発信する場とする。 ・豊かな地域・他校交流の場とし、子どもたちが地域で自立した生活を送るための基盤づくりとする。 ・府立学校の共有財産として、研修会や合同説明会等に活用いただくことで、大阪府全体の教育活動に貢献する。 <p>* 満足度アンケート、活用回数等を成果指標とし、行事、年度ごとの検証をふまえ、活用内容等を深化させる。</p> |
| 整備した 設備・物品(数量) | <p>講堂の整備及び環境対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台照明機器（老朽化により不安定な状況）の整備 |
| 取組みの 主担・実施者 | 主担:教頭 実施者:首席2名 |
| 本年度の 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年8月に基礎工事、11月に配電工事を完了。安定した照明設備を実現した。12月の「なんば・なにわ祭」では、各部の舞台発表において効果的な舞台照明を実現し、子どもたちの生き生きとした発表（笑顔発信）につなげることができた。 ・なにわ高等支援学校と難波支援学校の合同和太鼓演奏では、従来の2階のブース内ではなく、舞台そでに照明機器の操作盤を設置することで、音と光の操作性が格段に高まり、演奏をより効果的に演出することができた。 |
| 成果の検証方法 と評価指標 | <ul style="list-style-type: none"> ・講堂活用交流校：4校 ・講堂活用行事 満足度：高等部アンケート結果 第1回 満足度76% 第2回 満足度86% ・ホール名：「（仮称）すまいるホール」（次年度決定） ・ホールの使用規定を検討（次年度決定） |
| 自己評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・講堂活用交流校：4校（○） ・講堂活用行事 満足度：高等部アンケート結果 第1回 満足度76% 第2回 満足度86%（◎） ・ホール名：「（仮称）すまいるホール」（次年度決定）（○） ・ホールの使用規定を検討（次年度決定）（△） |
| 次年度に向けて | <ul style="list-style-type: none"> ・2度にわたる工事となり、11月に工事終了となったことから12月から新しい舞台照明を活用することとなった。「なんば・なにわ祭」では、満足度86%となっているように、照明の改修は期待以上に効果があり、舞台発表の充実に大きく貢献した。次年度には、本校以外の方にも活用機会を増やすよう活用規定等を定め、ホームページ等で発信したい。 |